平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場会社名　株式会社データホライゾン　　上場取引所　東
コード番号　3628　URL　http://www.dhorizon.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）内海　良夫
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　（氏名）内藤　慎一郎　TEL　082-279-5525
四半期報告書提出予定日　平成21年2月13日

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,134	—	257	—	242	—	141	—
20年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	85.84	85.79
20年3月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,204	952	78.7	533.67
20年3月期	847	511	59.9	322.57

（参考）自己資本　21年3月期第3四半期　947百万円　20年3月期　507百万円

（注）1　当社グループは、20年3月期第3四半期は、四半期連結財務諸表を作成していないため、20年3月期第3四半期および21年3月期第3四半期の対前年同期増減率の記載をしておりません。
2　平成20年8月1日付で5株を1株に併合しており、20年3月期の1株あたり純資産については、併合後の株数により記載しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	———	———
21年3月期（予想）	———	———	———	0.00	0.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,551	28.0	317	25.7	308	23.5	175	△27.2	104.55

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　有
（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　無
（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）　21年3月期第3四半期　1,774,530株　20年3月期　1,574,530株
② 期末自己株式数　21年3月期第3四半期　—株　20年3月期　—株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）　21年3月期第3四半期　1,650,894株　20年3月期第3四半期　1,574,530株
（注）20年3月期については、平成20年8月1日付で5株を1株に併合しており、併合後の株数により記載しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（1）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
（2）当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成 20 年４月１日～平成 20 年 12 月 31 日）におけるわが国経済は、世界的な金融危機等の影響を受け、企業収益の減少や雇用情勢の悪化など急速な景気後退の局面を迎えております。

また、当社グループの医療関連情報事業を取り巻く環境は、保険者については、医療費増加により財政状態が厳しいなか、医療制度改革法による特定健診・特定保健指導の義務化などで負担が増加し、病院および保険薬局については、医療費全体の抑制を目的とした諸施策が一層浸透しております。

このような状況のなか、当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績は、保険者の医療費削減のニーズに応えたジェネリック医薬品通知サービスと、レセプトデータを利用した製薬会社向け情報サービスが順調に推移したことなどで、売上高は 11 億 34 百万円となりました。

損益面におきましても、営業利益は２億 57 百万円、経常利益は２億 42 百万円、四半期純利益は１億 41 百万円と順調に推移しております。

なお、サービス・製品別の売上高の状況は次のとおりであります。

（注）　当社グループの主な事業は、医療関連の情報サービス、情報システムの開発および販売（以下、「医療関連情報事業」という。）であり、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計に占める「医療関連情報事業」の割合がいずれも 90％を超えているため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

〈医療関連情報サービス〉

ジェネリック医薬品通知サービスは、地方公共団体（国民健康保険）に初めて提供を開始するなど順調に拡大しております。当第３四半期連結累計期間末でサービスを提供している保険者の数は前連結会計年度末から７団体増加し 35 団体となり、その加入者数は 325 万人に達し、我が国の国民人口の約 2.5％となっております。

ジェネリック医薬品通知サービスの拡大に伴い製薬会社向け情報サービスの売上高も順調に推移し、医療関連情報サービスの売上高は、６億 48 百万円となりました。

〈医療関連情報システム〉

医療関連情報システムは、平成 20 年度の薬価改定・後期高齢者医療制度の開始により、病院向けシステムおよび保険薬局向けシステムの営業活動が停滞しましたが、売上高は４億 65 百万円を確保しております。

〈その他〉

その他は、主に過去に販売しておりました医療関連以外のシステムのリプレースなどで、その売上高は 20 百万円となっております。

サービス・製品別の販売高は、次の通りです。

サービス・製品の名称	当第３四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）	
	販売高(千円)	構成比(%)
ジェネリック医薬品通知サービス	211,785	18.7
その他保険者向けサービス	20,877	1.8
保険者向け情報サービス	232,662	20.5
製薬会社向け情報サービス	416,121	36.7
医療関連情報サービス	648,784	57.2
レセプトチェックシステム	168,100	14.8
その他	25,868	2.3
病院向けシステム	193,968	17.1
システム	246,042	21.7
メンテナンス他	25,127	2.2
保険薬局向けシステム	271,169	23.9
医療関連情報システム	465,136	41.0
医療関連情報事業	1,113,920	98.2
その他	20,790	1.8
合計	1,134,710	100.0

２．連結財政状態に関する定性的情報

当社は、平成 20 年９月 18 日に公募増資により３億３百万円の資金を得ております。これにより、株主資本が同額増加し、短期借入金 47 百万円の返済を行っております。

これらより、前連結会計年度末に比べて当第３四半期末の流動資産は２億 70 百万円増加し、固定資産の増加と合わせて、資産合計は３億 56 百万円増加しております。

一方、借入金の返済などで負債合計は、84 百万円減少しております。

この結果、当第３四半期末における流動比率は、前連結会計年度末から 182.3 ポイント改善し 336.4%となっており、資金の流動性はより高くなっております。

また、自己資本比率につきましては、前連結会計年度末から 18.8 ポイント改善し 78.7%となり資本の安定性も高くなっております。

(資産)

当第３四半期末の流動資産の残高は、売掛金の回収による減少がありましたが、現金及び預金と有価証券が増加し前連結会計年度末に比べて２億 70 百万円増加しております。

また、固定資産は、ソフトウェアの開発などにより、前連結会計年度末に比べて 86 百万円増加しております。

この結果、当第３四半期末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて３億 56 百万円増加し、12 億４百万円となっております。

（負債）

当第３四半期末の流動負債の残高は、短期借入金の返済、買掛金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べて 80 百万円減少しております。

固定負債に、大きな増減は無く、当第３四半期末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて 84 百万円減少し、２億 51 百万円となっております。

（純資産）

当第３四半期末の純資産の残高は、公募増資により資本金と資本剰余金がそれぞれ１億 51 百万円増加したことと、利益剰余金１億 41 百万円が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ４億 40 百万円増加し９億 52 百万円となっております。

３．連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は順調に推移しており、今後もジェネリック医薬品通知サービスの成功報酬の増加を中心に、引き続き順調に推移すると予想しております。このため、通期の業績は平成 20 年９月 19 日に公表しました内容から変更は無く、概要は次の通りであります。

通期の連結業績は、売上高について、医療関連情報サービス８億 15 百万円（前期比 29.3%増）、医療関連情報システム７億 13 百万円（前期比 30.9%増）、その他 22 百万円（前期比 38.5%減）、合計で 15 億 51 百万円（前期比 28.0%増）を予想しております。

また、損益面におきましては増収により、営業利益３億 17 百万円（前期比 25.7%増）、経常利益３億８百万円（前期比 23.5%増）を予想しております。

なお、当連結会計年度より税金等調整前当期純利益に対して実行税率程度の税金費用が発生するため、当期純利益は１億 75 百万円（前期比 27.2%減）を予想しております。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の値を期間按分して算定する方法によっております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、当第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第９号）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に対する影響はありません。

５．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	339,913	144,839
売掛金	181,310	232,715
有価証券	100,000	―
商品	90	97
仕掛品	82,545	62,975
原材料及び貯蔵品	9,106	5,847
その他	15,080	10,196
貸倒引当金	△1,034	△66
流動資産合計	727,011	456,604
固定資産		
有形固定資産	94,902	78,139
無形固定資産		
ソフトウエア	105,325	74,157
ソフトウエア仮勘定	112,905	60,427
のれん	2,556	4,257
その他	404	404
無形固定資産合計	221,190	139,245
投資その他の資産	160,953	173,451
固定資産合計	477,045	390,835
資産合計	1,204,056	847,438
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,300	68,760
短期借入金	―	50,000
1年内返済予定の長期借入金	6,437	6,437
未払法人税等	63,986	41,009
賞与引当金	10,509	19,288
その他	97,900	110,847
流動負債合計	216,131	296,340
固定負債		
長期借入金	25,463	30,290
退職給付引当金	10,403	9,464
固定負債合計	35,865	39,754
負債合計	251,996	336,094

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,800	300,000
資本剰余金	151,800	－
利益剰余金	342,987	201,280
株主資本合計	946,587	501,280
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,802	9,109
為替換算調整勘定	△1,382	△2,488
評価・換算差額等合計	420	6,621
少数株主持分	5,053	3,443
純資産合計	952,059	511,345
負債純資産合計	1,204,056	847,438

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
売上高	1,134,710
売上原価	496,831
売上総利益	637,880
販売費及び一般管理費	380,147
営業利益	257,732
営業外収益	
受取利息	117
有価証券利息	133
受取配当金	315
雑収入	441
その他	31
営業外収益合計	1,037
営業外費用	
支払利息	1,220
株式交付費	4,757
株式公開費用	7,207
為替差損	3,573
営業外費用合計	16,757
経常利益	242,012
特別利益	
貸倒引当金戻入額	41
特別利益合計	41
特別損失	
固定資産除却損	22
特別損失合計	22
税金等調整前四半期純利益	242,031
法人税、住民税及び事業税	85,691
法人税等調整額	13,025
法人税等合計	98,715
少数株主利益	1,609
四半期純利益	141,707

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	242,031
減価償却費	54,141
のれん償却額	1,701
貸倒引当金の増減額（△は減少）	969
賞与引当金の増減額（△は減少）	△8,780
退職給付引当金の増減額（△は減少）	939
受取利息及び受取配当金	△432
有価証券利息	△133
支払利息	1,220
固定資産除却損	22
為替差損益（△は益）	143
株式交付費	4,757
売上債権の増減額（△は増加）	51,406
たな卸資産の増減額（△は増加）	△22,823
仕入債務の増減額（△は減少）	△31,002
その他	1,023
小計	295,180
利息及び配当金の受取額	540
利息の支払額	△1,300
法人税等の支払額	△64,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,925
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△43,407
無形固定資産の取得による支出	△125,249
関係会社株式の取得による支出	△4,771
定期預金の預入による支出	△100,000
その他の支出	△5,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△50,000
長期借入金の返済による支出	△4,827
株式の発行による収入	298,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	244,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	△268
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	95,074
現金及び現金同等物の期首残高	144,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	239,913

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成 20 年９月 18 日付で、新株の発行による払込を受けました。この結果、当第２四半期連結会計期間において、資本金が 151 百万円、資本準備金が 151 百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において、資本金が 451 百万円、資本準備金が 151 百万円となっております。

「参考資料」

前連結会計年度は、第３四半期連結財務諸表を作成しておりません。